

J R 烏山線利用促進対策特別委員会活動報告

昨年11月「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから初めての山あげ祭本番を迎えた7月22日、烏山駅前にJ R 烏山線を利用して山あげ祭にお越しただいたお客様を歓迎する「お出迎え」のため、市議会議員の他、やまどんも集合しました。

午前11時40分着の「アキュム」が満員の乗客を乗せて到着。横断幕を掲げて歓迎の声をかける議員が、乗客からカメラを向けられる場面もあり、和やかな「お出迎え」となりました。本年も大勢のJ R 職員の対応により、S u i c a の乗り越し精算はスムーズに進みました。

J R 烏山線は本市と県都宇都宮市、首都圏を結ぶ大動脈です。その存続と更なる利用向上を図るため、市ではJ R 烏山線沿線でのひまわり、ユリの植栽などに取り組んでおり、また、烏山駅前整備も進めています。

J R 烏山線利用促進対策特別委員会 委員長 高田 悦男



やまどんとともに「お出迎え」する議員